

記者発表				
月/日 (曜日)	担当課(室) 係名	T E L	発表者名 (担当係長名)	その他配布先 (時間)
7/5 (火)	大気課 指導・規制係 疾病対策課 検診指導係	内線 3361 ダイヤル 362-3285 内線 3252 ダイヤル 362-9130	阿多 修 (春名 克彦) 熊谷 仁人 (田中 操子)	

## クボタ旧神崎工場に係るアスベスト対策等について

### 1 経過

- ・昭和 29 年 アスベスト製品製造開始
- ・平成元年12月27日 大気汚染防止法の施行(アスベストに関する規制開始)
- ・平成 2 年 1 月26日 大気汚染防止法に基づく届出の受理  
(主な届出内容)
  - ・特定粉じん発生施設の種類の種類(解綿機、混合機、破碎機、穿孔機)
  - ・特定粉じんの使用の方法
  - ・特定粉じんの処理又は飛散の防止の方法
- ・平成 2 年 6 月 27 ~ 29 日 大気汚染防止法に基づく立入検査
- ・平成 5 年 2 月 15 ~ 17 日 大気汚染防止法に基づく立入検査
- ・平成 7 年 12 月 住宅建材の完全無石綿化
- ・平成 8 年 1 月 23 日 施設の廃止届出受理
- ・平成 9 年 神崎工場の廃止

### 2 アスベストの使用量

- (1) 青石綿 88,671 トン(昭和 32 年 ~ 50 年)  
年平均 4,667 トン 最大 昭和 43 年 7,669 トン
- (2) 白石綿 149,375 トン(昭和 29 年 ~ 平成 7 年)  
年平均 4,199 トン 最大 昭和 48 年 7,045 トン
- (3) 青石綿 + 白石綿 238,046 トン  
年平均 5,667 トン 最大 昭和 43 年 14,187 トン

### 3 クボタ旧神崎工場におけるアスベスト対策等

- ・昭和 4 7 年以降は集塵機で除去(4 7 年以前は確かな資料が残っていないが、設置していたとのことであった。)
- ・昭和 5 1 年以降は作業を完全自動化
- ・昭和 5 7 年敷地境界において自主測定を実施

測定結果 0.5 ~ 0.7 本 / リットル

- ・ 大気汚染防止法施行後は、毎年 2 回以上敷地境界において自主測定を実施  
測定結果 0.05 ~ 2.29 本 / リットル (敷地境界基準 10 本 / リットル)

#### 4 旧神崎工場内の被害状況等

##### (1) 石綿疾患患者の状況 (含む退職者)

昭和 53 年 ~ 平成 16 年 石綿疾病による死亡 75 名

(内、中皮腫による死亡者 42 名)

現在療養中 18 名 (内、中皮腫による療養者 4 名)

##### (2) 労災関連

区 分		在籍者	退職者	合計
死 亡	労災 (遺族年金) 認定済	20	49	69
	労災申請中	0	6	6
療 養	労災 (療養・休業補償) 認定済	0	14	14
	労災申請中	0	4	4
合 計		20	73	93

##### (3) 社員の健康診断

退職者についても、特殊健康診断 (石綿・じん肺) を社費で実施している。

##### (4) その他

平成 17 年 6 月 29 日から昨日までの同社にあった健康相談及び問い合わせ  
件数 121 件